



6月18日(水)、6月19日(木) 大阪関西万博に高専ロボコンで活躍したロボットを出展しました。



6月24日に60周年記念植樹を行います(サンシュユ)



創立50周年記念に植樹した思川桜は今年も満開



小山高専サッカー部 祝地区大会優勝!

Vol.20 2025.6

目次

学校長挨拶

小山高専は進化型(シン)高専を目指す…………… 2

主事・専攻科長挨拶

無駄や失敗の重要性…………… 3

「高専で特に力を入れたことは何ですか?」…………… 3

明日の自分のために…………… 3

専攻科の2年間…………… 3

学級担任等の紹介…………… 4

新入生に贈る言葉…………… 5

新任教員挨拶…………… 6

創立60周年記念事業募金について…………… 6

学生相談室からのお知らせ…………… 7

学生会ニュース、学寮ニュース…………… 8



<https://www.oyama-ct.ac.jp/> 旧小山高専だより通刊No.199
※従来の小山高専Quarterlyから工陵・小山高専だよりへ変更しました。



小山高専は進化型（シン）高専を目指す

校長 鶴見 智

4月より新たに本校校長に赴任しました。前任地は北九州高専です。九州の高専校長を務めていましたが、もともと出身は真岡市（旧：二宮町）ですので地元に戻ってきたことになります。約半世紀ぶりに栃木県民になりました。自己紹介はこの程度にして、新年度ですので小山高専校長に赴任して思うことを述べたいと思います。

北九州高専もロボコンは強いのですが、私の中では小山高専はデザイン性に優れたロボットを伝統的に作る高専というイメージを持っています。またいろいろな分野で女子学生が広く活躍しているように思います。この伝統は大事にしてください。

教育面では（1）アントレプレナーシップ教育（2）グローバルエンジニア教育（3）STEAM教育に特長があるとしています。

まずアントレプレナーシップ教育ですが、本校のアントレプレナーシップ教育は必ずしも起業家を育てることを目的にしているのではないとも聞きます。確かにアントレプレナーとはアイデアを実行する人であり、必ずしも起業家と同義ではありません。私はその精神は「パッション」と「ビジョン」だと思います。この二つを培っていれば、たとえ起業せずともどんな世界でも生き抜くことができるでしょう。

次にグローバルエンジニア教育ですが、高専機構のグローバルエンジニア育成事業にも採択され、海外短期派遣実施、短期留学生受け入れ、ネイティブ教員採用などグローバル教育にも積極的に取り組んでいます。これらを通して「コミュニケーション力」および「自己表現力」の向上と「多様性理解」という現代社会人に必要な能力を身につけることができます。継続していきたいと思います。

最後にSTEAM教育です。Science、Technology、Engineering、Arts、Mathematicsのことですが、Arts以外は高専では設置当初から実践されているところです。ところで、以前ある専門家が日本人に不足しているものはCreativity（創造力）、Imagination（想像力）であると指摘していました。どちらも新しいアイデアや概念を生み出す精神的プロセスです。これらは知識ベースのカリキュラムや教育では培うことはできません。私はArtsに鍵があると思っています。リベラルアーツ教育の重要性はいうまでもありませんが、専門領域に縛られず分野横断的な視点を持つこと、協働・協創で課題解決に取り組むこと、失敗を恐れずチャレンジすることが大事です。この心構えを皆さんに持ってもらいたいと思います。なお、本校が取り組んでいる「小山高専STEAMプロジェクト」は能力のある子どもたちを早期に発掘し未来につなげる地域連携・社会貢献活動としても評価しています。

小山高専はこれら3つの特長を武器に不易流行の精神で全国の高専をリードする進化型（シン）高専を目指すべきだと思います。

■ 無駄や失敗の重要性



校長補佐(教務主事)
伊澤 悟

忙しい現代社会では効率化が求められます。効率良く勉強や仕事をする事は重要ですが、無駄かどうかは後になって分かることも多いので、結果のみを求めないようにしましょう。新たな発見や楽しさは無駄や遊びの中にあると思っています。

昔から良く失敗をしました。今は歳をとったので、失敗しないように先回りして行動していますが、それでも失敗します。そうです、私は、…人間は失敗をします。私の専門分野は破壊力学で、機械がなぜ壊れるかを探り、その知識をモノづくりに活かしています。ここでは、過去の事故の歴史がとても重要で、先人たちの事故の経験が、新しい設計の指針になります。そうです、過去の失敗は今に生きるのです。

思う通りに行かないのも人生、そこに楽しさを見い出ませんか？出来れば、若い時にいっぱいチャレンジして失敗してみてください。「失敗は成功のもと」というように、無駄や失敗はあなた自身を成長させて人生を豊かにしてくれるでしょう。

■ 「高専で特に力を入れたことは何ですか？」



校長補佐(学生主事)
加藤 清考

この原稿を書いているのは5月の上旬で、5年生の皆さんが就職活動・進学活動真っ只中です。例年5月が終わるころは就職希望の7割程度の5年生が内定をもらい、一方の進学に関しては推薦入試がひと段落し、これから学力入試に移るという時期になります。

今年度も何人かの5年生から、面接の練習をしてほしいと依頼を受けて引き受けましたが、本稿のタイトルはその質問のうちの1つです。さて、皆さんはこの質問の回答として何が頭に浮かびますか？

4月の始業式では、皆さんに学生時代だからこそできることにチャレンジし、これだけはだれにも負けないと自信が持てるものを見つけてくださいというお話をしました。

野村克也さんが、著書の中でこう書いています。『器用貧乏という言葉があるように、器用な人は往々にして「これだけはだれにも負けない」という武器を持ってずに終わる。(中略) 対して不器用な人間は何度も失敗を重ねるため、一定のレベルになるまでに時間がかかるが、そのぶん、必然的に努力しなければならないし、失敗の中から学ぶことも多い。(中略) 長いスパンで見れば、不器用は器用に勝つのである。』

広く知識を身につけることももちろん大切ですが、長い時間をかけて一つのことに力を入れ、失敗を重ねながらもそれを経験に替え、結果的にこれだけはだれにも負けないと自信を持って言えるものを、高専にいる間にぜひ見つけてください。

■ 明日の自分のために



校長補佐(寮務主事)
本多 良政

ずいぶん前のことですが、私がある中堅ゼネコンに就職した時、新入社員研修で「後工程はお客様」という話を聞きました。後工程をお客様に見立て、そのお客様に喜んでもらえるように仕事を行いなさいということです。これは仕事の取り組み姿勢の教えですが、私は普段の生活にも当てはまっています。我々は多くの人と関わりを持って生活しています。我々の行いは誰かに何らかの影響を与えています。したがって、自分の行為による影響を考えて行動することは大事だと思います。

これは別の見方をすると、自分自身に対しても言えるのではないのでしょうか。授業を受けている今の自分は次回の授業を受ける自分につながっていて影響を受けます。もっと言えば、未来の自分につながっていきます。つまり、未来の自分のためにも、今を大事にするべきだと考えます。

「明日の自分のために、今を大事にする」そんな生活をしてほしいです。

■ 専攻科の2年間



校長補佐(専攻科長)
今泉 文伸

毎年この時期になると、多くの本科の学生が「専攻科に進学したいです」と話してくれます。教員として、それはとても嬉しい瞬間です。専攻科を卒業した先輩の活躍や、現在在籍している専攻科の学生を見て、「自分もあんなふうになりたい」と感じてくれているのでしょうか。専攻科では、充実した研究生活に加えて、少人数での丁寧な指導、活発なグループワーク、海外留学、そして地域企業と連携した実践的なインターンシップなど、より多様で深い学びの機会が広がっています。さらに、そうした経験をイベントや学会で発表し、異なる価値観や考え方に触れ、自分の視野を大きく広げることができます。気づけば、あなたは専攻科の2年間で確実に成長しているはずですが、友人や教員とのつながりだけでなく、企業の方々や他の高専・大学の先生との交流を通じて、見える世界が変わっていくことでしょう。そして卒業のときには、きっとこう思うはずですが—「この2年間は、人生の中で最も短く感じるほど充実していた」と。そして、そんなあなたの姿を見て、次の後輩が私のところに来て言うのです。「専攻科に進学したいです」と。今年もまた、そんな瞬間を楽しみに教員としての一年をスタートさせています。

学級担任等の紹介

専攻科



機械工学コース主任
飯塚 俊明
機械工学科



電気電子創造工学コース主任
北野 達也
電気電子創造工学科



物質工学コース主任
田中 孝国
物質工学科



建築学コース主任
崔 熙元
建築学科

機械工学科

電気電子創造工学科 (L) 電気電子創造工学科 (R)

物質工学科

建築学科

5年



那須 裕規
機械工学科



李 曉楊
電気電子創造工学科



小林 康浩
電気電子創造工学科



酒井 洋
物質工学科



佐藤 篤史
建築学科

4年



大根田 浩久
機械工学科



鈴木 真ノ介
電気電子創造工学科



平田 克己
電気電子創造工学科



笹沼 いづみ
物質工学科



大和 征良
建築学科

3年



日下田 淳
機械工学科



佐藤 健
電気電子創造工学科



サム アン ラホック
電気電子創造工学科



早乙女 友規
物質工学科



安高 尚毅
建築学科

2年



岡崎 勝男
一般科



岡田 晃
一般科



平野 進一
一般科



佐藤 悠樹
一般科



中川 英則
一般科

1年



森下 佳代子
一般科



長田 朋樹
一般科



荒武 永史
一般科



岡田 崇
一般科



吉村 理英
一般科

新入生に贈る言葉



機械工学科1年担任
森下 佳代子

“The most important thing is to enjoy your life – to be happy – it’s all that matters.” 名女優 Audrey Hepburn の言葉であり、私の座右の銘です。とはいえ、毎日が楽しいことばかりではありません。思い描いた通りに講義を展開できずにへこむことや、締切が重なってピンチに陥ることもあります。そんな時も、苦しくたって悲しくたって頑張るアニメのヒロインになりきって必殺技(講義内容)を考えることに没頭したり、自分史上最速のタスク処理を目指したりと、その状況を楽しんでいます。論語の中にも『子曰、知之者不如好之者、好之者不如樂之者』とあります。「物事を理解して知っている人は、それを好きな人にはかなわない。物事を好んでいる人は、それを心から楽しんでいる人には及ばない。」といったところでしょうか。新入生の皆さんに、私から、次の言葉を贈りたいと思います。『人生はたった一度きり。大いに楽しもう。』



電気電子創造工学科(L)
1年担任
長田 朋樹

入学してから、あっという間に1か月以上が経ちましたね。小山高専での学生生活に少しずつ慣れ始めてきているところでしょうか。5年間は長いようであっという間に過ぎていきますので、この5年間でしかできない経験や時間を是非大切にしてください。

友人、先輩、先生方との新たな出会いをきっかけに、勉強だけではなく、部活動や地域活動などにも全力で挑戦して欲しいと思います。

最近よく思うことがあります。それは、どんなにテクノロジーが進化しても最終的には人なのだということです。「誰と出逢い、誰と過ごし、誰と経験したか」がとても重要で、自分を成長させてくれている気がします。

だから、小山高専でも何かに真剣にチャレンジして失敗したり壁にぶちあたったりしても、きっと誰かが手を差し伸べてくれます。「何も咲かない寒い日は下へ下へと根を伸ばせ。やがて大きな花が咲く」最後に僕の好きなフレーズを皆さんに送ります。



電気電子創造工学科(R)
1年担任
荒武 永史

「新入生に贈る言葉」ということですが、私は高専出身でもなく民間企業で働いた経験もありませんので、進路や人生の悩みに大したアドバイスはできません。代わりに、数学という学問を修めた者として、「学び」についてのメッセージを皆さんに送ります。

高専5年間という長い時間をかけて、将来につながる「基礎技術」と「学ぶ力」をじっくり身につけてください。新しい技術には流行り廃りがありますが、高専で学ぶ基礎技術は何十年経っても廃れず、新しい技術を学ぶための土台となります。また、一人前の技術者になるには、誰も答えを教えてくれない中で、自ら学び考えて課題を解決する力が問われます。安易に他人を頼ったり小手先のテクニックを使うのではなく、目の前の課題に正面から取り組み、自分の頭で考え抜く習慣を今のうちから育てていってください。



物質工学科1年担任
岡田 崇

I am an Associate Professor of Mathematics. I hope you will enjoy exploring mathematics and other subjects during your school activities.

Sou professor associado de Matemática. Espero que você se diverta com matemática e outras disciplinas em suas atividades escolares.

私は小山高専の数学の准教授です。ご自身の学校活動で、数学や他の科目を楽しんで頂けるようお願いしています。数学に関して質問があれば、どうぞ！



建築学科1年担任
吉村 理英

ご入学おめでとうございます！

新しい環境に慣れてきた頃でしょうか？まだ期待と不安が入り混じる日々かもしれませんね。数か月前、皆さんは小山高専で学ぶことを選びました。その選択には、勇気や決意が込められていたことでしょう。これから卒業までの5年間は、学び、成長し、自分の可能性を大きく広げる大切な時間です。時には思うようにいかないこともあるかもしれませんが、でも、その壁を乗り越えたとき、きっと今よりも強く、たくましくなった自分に出会えるはずですよ。

高専生活には「自由」もあり、皆さんの可能性は無限大です。しかし、「自由である」ことは、「好きなことができる」と同時に、「自分を律し、責任を持って行動する」ことが求められます。夢や目標は、焦らず少しずつ形にしていけば大丈夫。小さな挑戦の積み重ねが、やがて大きな成長へとつながります。自分を信じて、毎日を大切に過ごしましょう。

新任教員挨拶



機械工学科
黒川 侑暉

4月に機械工学科に着任いたしました黒川侑暉です。2013年に小山高専 機械工学科へ入学し、専攻科修了までの7年間、小山高専で過ごしてきました。専攻科終了後は、九州工業大学大学院生命体工学研究科に進学し修士と博士の学位を取得し、そのまま戻ってきた形となります。主な研究として、本科5年から今まで有機系太陽電池に分類される有機薄膜太陽電池や色素増感太陽電池の研究に携わってきました。

慣れた環境ではありますが、教員としても研究者としても至らない点がありますので、精進して参りたいと思います。今後ともよろしくお願いたします。



一般科担当
マーカス アmano

小山高専の皆さん、はじめまして！4月からグローバル担当として一般科に着任したマーカス・アントニオ・アマノです。グローバル化が進む世界に対応できるよう、学生と共にチャレンジしていきます。

私の専門は理論物理学における核物理学であり、分子の中心を占める物質に関する理論を理解するために、日々研究に努めています。特に、中性子星やクォークグルーオンプラズマといった極限の物質について、より良い理解を得ることを目指しています。

皆さんに歓迎されていると感じており、学生の英語などの教養を高めるよう、尽力していきます。何卒よろしくお願いたします。

小山工業高等専門学校 創立60周年記念事業募金について



小山工業高等専門学校（小山高専）は、昭和40年に設立され、令和7年度に60周年を迎えました。

創立60周年記念事業実施のため、昨年度より小山工業高等専門学校創立60周年記念事業募金を実施しています。

記念事業及び創立60周年記念事業募金の詳細は

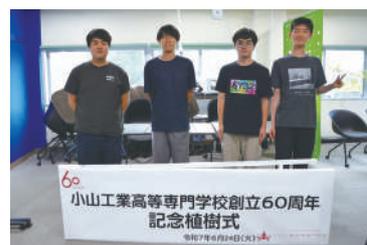
QRコード及び下記URLよりご確認いただけます。引き続き皆様のあたたかいご支援をお願いします。

また、これまでに皆様よりお寄せいただいたご支援に対し、心より感謝申し上げます。



～小山工業高等専門学校創立60周年記念事業について～

<https://www.oyama-ct.ac.jp/chiiki/ouenkikin/oyama60th/>



60周年記念植樹式横断幕制作風景

思索Factory学生スタッフ、エレ研部員と教職員で作成しました。学生の皆さんご協力ありがとうございました。

学生相談室からのお知らせ

ひとりで悩まないで！つらいときは誰かに相談してみよう。
でも、相談する人を自分で見つけることが難しいなら、ぜひ学生相談室を利用してみてください。
学生相談室のスタッフは皆さんの相談にのりたい、皆さんの力になりたいと思っています。

学生相談室長 鹿野 文久



学生相談室 相談申込

https://www.oyama-ct.ac.jp/college_life/gakuseishien/gakuseisoudan/

カウンセラー等紹介

皆さん初めまして。去年の11月からカウンセラーとして学生相談室に在室しています。学校生活は楽しい事もあれば、大変なこともありますよね。誰かに話しにくいことがある時には、相談室に来てもらえたらと思います。話して何になるの？と思う事もあるかもしれませんが、話すことで見つかるものがあったり、気持ちが楽になったりすることもあります。相談することは特別な事ではありません。ぜひ日常の延長として使ってみてくださいね。

カウンセラー 小田桐 俊幸

みなさんこんにちは。今年もカウンセラーとして、みなさんとお会いすることになりました。話をしてみたいなと思った時には、いつでも気軽に相談室を尋ねてきてください。もし悩みがある時は、一緒に考えるお手伝いをさせていただきます。上手く話せなくても、こんなことを相談してもいいのかな？と躊躇してしまうような内容でも大丈夫です。まずは一声かけてくださいね。高専生活の一部として、相談室を身近に感じていただけたら嬉しいです。

カウンセラー 田口 明子

皆さんこんにちは。昨年に引き続き、今年もスクールソーシャルワーカーとして毎週木曜日に在室させていただきます。皆さんの生活の中で【困っていること】【心配なこと】に対応や支援を行っていきますので、いつでもご相談ください。話をすることで解決へのヒントに繋がることもありますし、自分の強みを見つけるヒントにもなります。好きなことや、得意なことは自分を助けてくれます。皆さんの強み（ストレングス）を一緒に見つけていけたらと思っています。よろしくお願いたします。

スクールソーシャルワーカー 澤山 和之

『いじめ・ハラスメント』相談

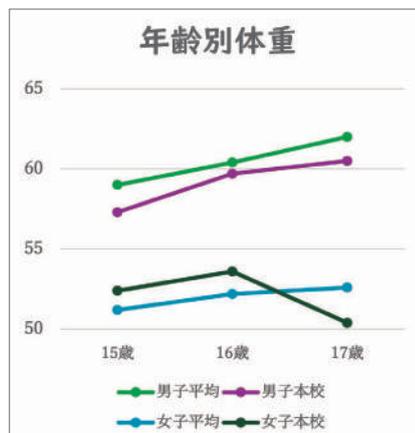
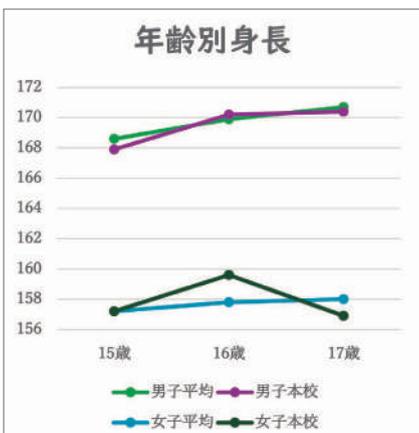


必要事項を入力後、送信を押してください。
相談内容に応じたサポートします。
プライバシーに配慮し、秘密厳守です。

『いじめ・ハラスメント』
相談申込フォーム

保健室より

4月に実施しました健康診断の結果が出ております。身長・体重ともに概ね全国平均と同じです。(下図参照)。
また、再検査が必要な学生には、医療機関受診の受診案内文が入っておりますので、早めの受診をよろしくお願いいたします。



身長(cm)	15歳	16歳	17歳
男子平均	168.6	169.9	170.7
男子本校	167.9	170.2	170.4
女子平均	157.2	157.8	158
女子本校	157.2	159.6	156.9

体重(kg)	15歳	16歳	17歳
男子平均	59	60.4	62
男子本校	57.3	59.7	60.5
女子平均	51.2	52.2	52.6
女子本校	52.4	53.6	50.4

令和7年度 学生相談室員

室長	鹿野 文久 (電気電子創造工学科)
副室長	長田 朋樹 (一般科)
室員	増淵 寿 (機械工学科)
室員	小林 康浩 (電気電子創造工学科)
室員	田中 孝国 (物質工学科)
室員	文野 光 (建築学科)
室員	関根 健雄 (一般科)
室員	佐藤 悠樹 (一般科)
室員	廣田 智子 (保健室)



学生会ニュース

GAKUSEIKAI NEWS

機械工学科4年 荒巻 湖乎乃

こんにちは。令和7年度学生会長を務めさせていただくことになりました、4年機械工学科荒巻湖乎乃です。

昨年度は学生生活において多くの協力を賜りました。ご協力ありがとうございます。

近年、学校生活において部活動などが急激に増加し、多くの学生が活気的に行動をしていることをよく見かけるようになりました。

自分の打ち込めるものに全力で向き合う学生の姿に、私としても活力をいただいております。

学生会執行部でも学生の主体的な活動を応援できるようサポートを整えておりますのでいつでもお声掛けください。

また、七夕やイルミネーションなどの生活を彩るものを今年も準備しております。

今年度1年間、全学生の充実した生活を目指し日々模索すると共に、スムーズな運営に努めますので、どうぞよろしくお願い致します。



令和7年度前期寮長
電気電子創造工学科4年 村田 翔梧

令和7年度 前期寮長を務めさせていただいております、4年電気電子創造工学科の村田翔梧です。桜若葉が新緑の季節を告げ、爽やかな風を感じるこの頃となりましたが皆さまはいかがお過ごしでしょうか。青嵐寮では今年度新たに59名の新入寮生を迎え、さらにフランスからの短期留学生も加わり、活気に満ちたコロナ禍以前の寮を取り戻しつつあります。先日、新入寮生歓迎会の一環で寮生ドッジボール、寮生リレーが行われました。学年の壁を超えて編成されるチームで優勝を争う青嵐寮伝統のイベントです。白熱した試合の中で特に新一年生たちのエネルギー溢る姿には圧倒されてしまいました。彼らに感化された僕たち上級生も負けじと応戦しましたが、先に体が限界を迎えてしまい運動不足を実感することになってしまいました。これから先にある様々な寮でのイベントを通して彼らと活発なコミュニケーションをとることや、運動不足の解消ができればいいなと思います。最後になりますがこのような楽しい寮生活を送ることができているのはいつも支えてくださる皆様のお力添えのおかげです。これからもどうぞ青嵐寮をよろしくお願いいたします。

学寮写真



寮生ボランティア



寮球技大会



寮学習会

独立行政法人 国立高等専門学校機構

小山工業高等専門学校

〒323-0806 栃木県小山市大字中久喜771 TEL.0285-20-2100

編集：小山高専広報戦略室 発行：2025. 6